

令和7年度 庄内小学校 学校運営協議会 実施報告

1 学校の概要

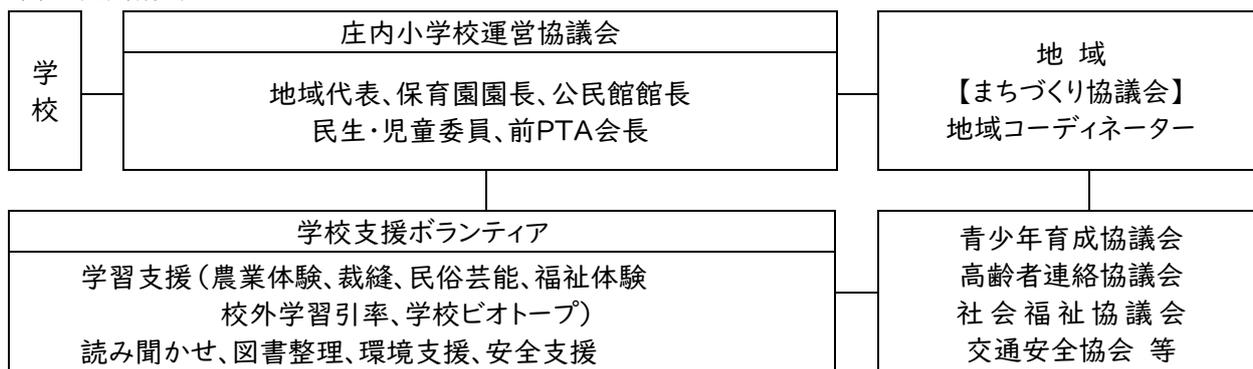
学校名	都城市立庄内小学校		校長名	日高 真美	
学級数	9学級	児童生徒数	122名	職員数	18名
教育目標	自主的で創造性に富み、心身ともに健康でたくましく、思いやりのある子どもを育成する。				

2 学校運営協議会に関わる組織

(1) 委員（計7名）・事務局（計4名）

学校運営協議会委員	No.	所属名（役職）	氏名	備考	事務局	役職	氏名
	1	丸宮建設株式会社社長	河野 一治	会長		校長	日高 真美
	2	手仕事舎そうあい理事長	蒲生 芳子	副会長		教頭	松元 秀樹
	3	前PTA会長	中野 諭	副会長		教務主任	嶋名 稔
	4	ルンビニ保育園園長	大河内 千秋			事務主査	加覧 愛子
	5	西区自治公民館館長	中村 守				
	6	民生委員・児童委員	名谷 久美子				
	7	都城市人権擁護委員	内田 由紀美				

(2) 組織編制



3 活動報告

月 日	主な活動及び内容
4月	・学校運営協議会委員の推薦、都城市教育委員会より委嘱状交付
4月10日	・入学式参列
5月27日	・第1回学校運営協議会 (授業参観、委嘱状交付、学校経営ビジョン・協議会趣旨説明、年間活動計画説明)
7月17日	・庄内地区まちづくり協議会・庄内地区PTA協議会講演会 (「命の授業」～子供は地域の宝・地域の子供は地域の大人が育てる～ 腰塚 勇人氏)
7月29日	・第2回学校運営協議会(庄内地区4校合同「庄内地区学校運営協議会委員懇話会」) 「地域と学校の未来創造ミーティング」参加
10月26日	・運動会参観
10月31日	・第3回学校運営協議会 (授業参観、学校評価基本方針、アンケート項目、学校の現状と課題について、質疑)
1月20日	・第4回学校運営協議会 (授業参観、学校の現状、学校評価の結果について、質疑)
2月10日	・第5回学校運営協議会 (授業参観、実施報告、次年度の活動案検討)
3月25日	・卒業式参列
3月	・次年度へ引継、準備

4 今年度実施した「熟議」のテーマ（小中合同学校運営協議会を含む）

7月：「地域と学校の未来創造ミーティング」

- ・ふるさとを好きになる子どもを育てるために

5 学校運営協議会の意見を生かした特色ある取組

(1) 学校支援活動

本校の特色である「学校ビオトープ」を整備し、充実した環境学習をしてほしいという意見を受け、学校運営協議会委員である河野さんや蒲生さんの協力のもと、排水と池の周りの工事を行っていただいた。今年度も、4年生の総合的な学習の時間に県環境アドバイザーでもある蒲生さんが講師となり、庄内小の3つのビオトープの観察や「生き物と私たちの暮らし」をテーマにワークショップを行い、充実した環境学習を行うことができた。



【「学校ビオトープ」の整備】

庄内地区では、庄内地区まちづくり協議会内に「庄内地区学校支援地域本部」の事務局が置かれ、地域をあげて学校を支援する体制が整っている。登校中の児童の安全確保のための見守り活動、いも畑の整地、もち米作り、もちつきの手伝い、読み聞かせ、庄内音頭の指導、お別れ遠足(校外ウォークラリー)での見守りなど、地域人材の中から最適な方をご紹介いただき、学習活動の中で御協力をいただいた。

(2) 教育課程の改善（カリキュラム・マネジメント）

今年度から、4年生の校外学習として、関之尾滝を水源とする用水路(南前田用水路、北前田用水路、前田用水路)の見学や歴史を学習するにあたり、庄内地区まちづくり協議会(庄内地区学校支援地域本部)に依頼し、「関之尾むかえびとの会」に協力していただいた。また、夏季休業中に、庄内地区小・中学校に新しく着任した職員を対象に「地域巡見研修」(地区内の史跡、文化財などを巡る研修)も行われている。



【4年生校外学習】

(3) 地域貢献活動

本校区には4つの民俗芸能があるが、夫婦踊りと水道音頭においては指導者の高齢化や少子化により、伝承活動をどのように継続していくのかという課題がある。熊襲踊りや南洲太鼓は、地域での活動が継続していて、大人と一緒に参加している児童もいる。南洲太鼓と夫婦踊りについて、6年生の総合的な学習の時間で由来についての学習や体験活動を行った。また、今年度から、地域や運動会で踊られていた「庄内音頭」を、3・4年生が運動会と11月2日に開催された「庄内ふるさと祭り」で発表し、地域の方からも喜ばれた。



【庄内ふるさと祭りで庄内音頭を披露】

6 学校運営協議会の成果と課題（○：成果 ●：課題）

- 学校運営協議会を開催する際には、授業参観を設定したり、入学式や運動会に参列していただいたりして、学校の様子や児童の様子を見ていただき、「学校の応援団」として貴重な意見をいただいた。
- 学校評価を確認する中で、学校運営協議会、支援ボランティアの活動が保護者に十分伝わってきていないのではないだろうか、という意見が出された。今後もPTA総会や学校だより・学級だより等を通して、今以上に積極的に発信していく。

7 次年度の方向性

- 学校運営協議会での情報交換や協議を通して、地域学校協働活動の推進・充実を図っていく。
- 地域とともにある学校として、学校と地域の連携の在り方について協議を継続していく。